

平成21年度 施策評価シート

平成21年7月15日記入

◆総合計画における位置付け等

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	11320
政策名(章)	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくれます	評価担当局	健康福祉局
基本施策名(節名)	第3節 障害者の自立支援と社会参加	施策所管課	陽光園
施策名	療育体制の整備と保育・教育の充実	課長名	鈴木 直喜

1 施策の目的

障害の軽減や生活能力向上及び早期発見・早期療育の推進、障害児者の社会的自立を目指す。

2 施策の概要

知的障害児通園施設である「第一陽光園」、肢体不自由児通園施設である「第二陽光園」、知的障害者に対して生活介護事業を行う「第三陽光園」、発達上の心配や障害についての相談に応じ、個別的な支援・児童デイサービス・機能訓練・巡回訪問等を行う「療育相談室」で構成される「陽光園」の運営を行うとともに、関係機関とも連携して発達上の心配がある児童や障害児者及びその家族支援を図る等、療育の充実に努める。

3 事業費

(単位:千円)

年度	平成19年度(決算)	平成20年度(決算)	増減の主な理由
事業費	620,262	627,273	<ul style="list-style-type: none"> 再任用職員1名配置による人件費の増 育休職員増による臨時的任用職員経費の増
人件費	505,791	513,717	
市民一人あたりの事業費(単位:円)	879	884	

* 年間の人件費はH19、H20ともに805万円/年とし、人口は、70.6万人(H20.4.1現在)、71.0万人(H21.4.1現在)とした。

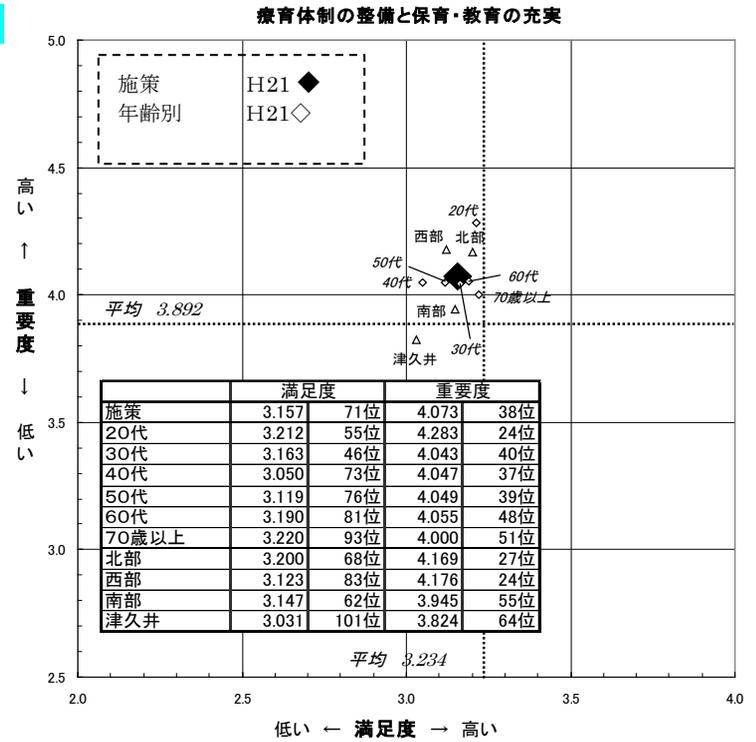
4 成果・活動指標

順位	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方(根拠)
4	指標1 利用者満足度(第三陽光園)	利用者の中で、第三陽光園に通園することが楽しいと感じている者の割合。(アンケートによる調査)	第三陽光園の利用者の満足度を示すためのもの。
2	指標2 巡回訪問相談処理率	当該年度相談延人数/当該年度相談希望延人数×100 H20年度相談延人数1,156人/H20年度相談希望延人数1,156人	保育園・幼稚園に在園する障害児に関する相談について、社会参加に必要な専門的な支援を行い、相談希望児数に対し全てに対応することを目標とする。
1	指標3 地域生活支援事業相談処理率	当該年度相談延人数/当該年度相談希望延人数×100 H20年度相談延人数642人/H20年度相談希望延人数642人	在宅障害者の地域における生活を支えるための当該事業に係る相談について、専門的な支援を行い、相談希望者数に対し全てに対応することを目標とする。
3	指標4 児童デイサービス利用希望に対する対応率	当該年度利用人数/当該年度利用希望人数×100 H20年度利用人数1,286人/H20年度利用希望人数1,286人	児童デイサービス利用希望について、全てに対応することを目標とする。
5	指標5 オモチャライブラリー療育用物品貸し出し件数	当該年度貸し出し件数/前年度貸し出し件数×100	前年度の貸し出し件数を上回ることを目標とする。

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1 (単位:%)	H17				75.0	100.0	80.0		85.0	
総事業費・人員 (単位:千円・人)	67,296	7	56,623	0	55,833	0				
指標2 (単位:%)	H17	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
総事業費・人員 (単位:千円・人)	8,050	1	8,050	1	8,050	1				
指標3 (単位:%)	H17	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
総事業費・人員 (単位:千円・人)	9,511	1	9,495	1	9,347	1				
指標4 (単位:%)	H17		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	
総事業費・人員 (単位:千円・人)			64,400	8	64,400	8				
指標5 (単位:件)	H17	100.0	100.0	132.1	100.0	102.4	100.0		100.0	
総事業費・人員 (単位:千円・人)	888	0.1	982	0.1	985	0.1				

5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

○この施策の満足度は3.157で全119施策の中で71番目。
 ○重要度は4.073で38番目である。
 ○改善要望度は0.182で30番目である。



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 2 1	4 2 1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	4 2 1		
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 1	4 2 1	
合計		10	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)	
				1次評価 A

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	市民満足度調査からも、以前に比べ陽光園での取り組みが少しずつ認識されてきたが、潜在的に支援を必要とする障害児者及びその家族は多数いると思われる。
解決策	支援を必要とする障害児者とその家族が負担感なく身近な地域で相談を行えるような体制づくりが必要であるが、平成22年度政令市移行に伴い3区に療育相談機能を配置し、より高い次元でニーズに応える体制づくりをする予定である。

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

昨年度3次評価意見を踏まえ、指標4で評価を行う。これに伴い、効率性を4点⇒2点とし、評価をA⇒Bとする。	2次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向